

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和3年11月24日

第15号

猿楽小学校との交流

12日（金）、猿楽小学校との交流集会を行いました。例年どおりであれば実際に対面して交流するところですが、未だコロナ禍であることから、今年度もリモート（インターネット等のネットワークを利用した環境）での交流となりました。

両校の交流は、戦争疎開がきっかけとなっています。その縁は、戦争中でありながらも、人の心の根底に「思いやり」や「感謝の気持ち」があったからこそ成り立ったものだと思います。その「思いやり」や「感謝の気持ち」は代が替わっても受け継がれ、今日の交流に至っています。

集会では、両校の校長、児童代表が挨拶した後、参加者の紹介、校歌合唱、贈り物目録贈呈を行い、最後に姉妹校交流の歌「鳩よ 翔べ」を歌いました。

集会後には、学年毎に交流をしました。調べたことを発表したり、自己紹介をしたり、会話を楽しんだりしました。「渋谷の見所はどこ?」「〇〇かな。いろんな物があるし」「金山の自慢は?」「〇〇かな」「へえ、いいな」などの会話がなされ、環境の違いに興味をもったり驚いたりしているようでした。

東京と富山、随分離れているような気がします。でもスクリーンやタブレット画面越しではありますが、向き合うことができました。生まれるときが少し違えば、生まれる場所が違えば出会っていなかったであろう私たちが、会うことができました。不思議です。素敵です。離れた両校の距離が一気に縮まりました。この不思議な出会いを大切にしていきたいと思います。





金山感謝の集い

19日（金）、金山感謝の集いを行いました。この感謝の集いは、日頃よりお世話をしてくださっている地域の方々に感謝の気持ちを伝えようと、子供たちが内容を考え、進める集会です。当日は、40名近くの方が来てくださいました。

集会では、企画委員会が進行、2年生がプレゼント渡し、1年と3～5年生が出し物、6年生が退場時のリコーダー演奏に思いを込めて、感謝の気持ちを伝えました。

本校の子供たちはとても素直で、のびのびと学校生活を送っています。それは、登下校では安全を見守ってくださり、学習活動においてはゲストティーチャーとして教えてくださる。下校後は、放課後児童クラブで関わってくださるなど、安全に学校へ来て、分かりやすく楽しく学び、安心して帰る所があるからこそだと思っています。また、先日の猿楽小学校との交流につきましても、猿楽会の方は、相手校の会員の方と連絡を取り合うなど、子供たちが知らないところにおいてもお世話をしてくださいました。いろいろな面での地域の皆様のご協力は、本校の教育活動にとって、とても大きな支えとなっています。

私は12年ぶりに本校へ赴任しましたが、出席してくださった方の中には、私が以前いたときに保護者としてお世話して下さった方もいらっしゃいました。お子さんはとっくに卒業されたのに、今なおこうしてお世話して下さっていることも何とも嬉しく思っています。地域の子供たちを地域で育てていこうとしてくださる金山のよさは、以前と全く変わっていないなと感じています。

出席者を代表して挨拶して下さった中波地域振興会長さんのお話には、「100歳まで頑張るつもり」というお言葉がありました。皆様にはどうぞお元気で、今後とも地域の子供たちの健やかな成長のためにご協力ください。よろしくお願いします。

